

令和7年度 江戸川区立大杉第二小学校 特別活動全体計画

校長名 笠井 三恵子

学校の教育目標	東京都教育委員会と江戸川区教育委員会の教育目標を受け、人権尊重の教育を基本に、国際社会において信頼と尊敬を得ることができる人間の育成を目指し、我が国の文化と伝統を尊重し、我が国とふるさと江戸川を愛する地域社会の一員としての自覚と誇りをもった健康で心豊かな子供を育成する。 ○よく考え進んで学ぶ子 ○思いやりのある子 ○明るく元気な子
特別活動の目標	望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。
目指す子供像	○活動の目標を達成するための方法や手段などを全員で考え、話し合い、協力して実践できる子 ○自分の役割や責任を果たすとともに、活動の目標について振り返り、生かすことができる子 ○集団の中で、互いよさを認め合うことができ、自由な意見交換ができる子
特別活動の重点目標	一人一人の児童が互いのよさや可能性を認め、生かし、伸ばし合うことができるような集団活動を行い、望ましい集団を育成しながら個々の児童に育てたい資質や能力を育成する。

	学級活動	児童会活動	クラブ活動	学校行事
目標	学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的実践的な態度や健全な生活態度を育てる。	児童会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的実践的な態度を育てる。	クラブ活動を通して、望ましい人間関係を形成し、個性の伸長を図り、集団の一員として協力してよりよいクラブづくりに参画しようとする自主的実践的な態度を育てる。	学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的実践的な態度を育てる。
指導の方針	楽しく豊かな学級生活づくりや互いに尊重しよさを認め合えるような人間関係を育むために、低学年では仲良く助け合おうとする人間関係、中学年では協力し合おうとする人間関係、高学年では信頼し支え合おうとする人間関係の育成を重視する。 自己のよさや可能性を生かして楽しく豊かな「学級や学校の生活づくりに参画できるよう、自発的自主的な態度を育成する。	異年齢集団活動を通して、上学年が下学年を思いやり、下学年が上学年にあこがれをもち、仲良く協力し信頼し支え合おうとする人間関係を形成したり、集団の一員として自分の役割を果たし、協力してよりよい学校生活づくりに積極的に取り組んだりすることについて、児童自身が意識して努力したり、自らが主体的に取り組んだりするなどの自主的実践的な態度を育成する。	学年や学級が異なる同士の児童が互いに協力し、信頼し支え合おうとする人間関係を築くことができるようにするとともに、児童の興味・関心に関わるよさや可能性について、多様な他者との人間的な触れ合いの中で認め合うことができるようにする。	全校又は学年という大きな集団の特質をよく理解し、児童が各種の学校行事に積極的に参加できるようにしたり、役割を担ってその責任を果たすことができるようにしたり、共に喜びや苦勞を分かち合いながら目標を達成し達成することができるようにしたりする。望ましい体験的な活動が展開できるようにする。
主な指導内容	(1)学級や学校の生活の充実と向上に関すること ・話し合い活動と係り活動 (2)日常生活や学習への適応、健康や安全に関すること ・不安や悩みを解消 基本的な生活習慣の形成 ・望ましい人間関係の育成 ・意欲的な学習態度の育成 ・学校図書館の利用や情報の適切な利用 ・健康で安全な生活態度の育成 学校給食 ・その他の指導 行事の事前事後・長期休業日前後の指導 ※1・2学年(仲良く助け合う)、3・4学年(協力し合う)、5・6学年(信頼し支え合う)	(1)全校児童集会 ・1年生をむかえる会、6年生を送る会 ・節分集会等 (2)委員会活動 ・集会、図書、保健、体育、給食、放送、飼育栽培、美化 ・代表(4年生以上の代表児童の参加) (3)なかよし班活動縦割りグループ ・1～6年生までの児童が15名程度のグループを作り活動する。 ・遠足、給食、遊び、大縄大会、清掃等	○クラブ(4学年以上) ・バトミントン・卓球・室内ゲーム・パソコン・ダンス・音楽・調理・科学・バスケ ・ボール・スポーツ・テイク・手芸・マンガイラスト ・クラブの計画・運営に関する話し合いの活動(児童の創意工夫による計画・運営) ・共通の興味・関心を追求する活動(児童全員による共同実践活動・グループ活動) ○クラブ見学(3学年)	○儀式的行事 ・入学式、卒業式、修了式、始業式、終業式、離任式、朝会 ○学芸的行事 ・学芸発表会 ○健康安全・体育的行事 ・定期健康診断、身体測定、避難訓練、運動会、自転車運転免許教室、AED講習、水泳大会、体育大会、セーフティ教室、薬物乱用防止教室 ○遠足・集団宿泊的行事 ・全校遠足、ウィンタースクール、日光移動教室 ○勤労生産・奉仕的行事 ・校内美化活動、大掃除、飼育栽培活動
各教科・読書科	各教科等の指導で身に付けた言葉を的確に理解・表現する能力、互いの立場や考えを尊重し伝え合える能力などを活用したり、これらの能力を向上させたりする。特に、学級会の仕方などの指導は、国語科の学習内容との関連を図って指導する。 「学校図書館の利用」や「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」や「食育の観点から踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」などは、国語科や読書科、体育科、家庭科の学習とも関連を図って指導する。	各教科で身に付けた能力などを、児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりのためによりよく活用できるようにしたり、児童会活動で身に付けた自主的実践的な態度などを各教科等の自発的な学習に生かしたりできるようにする。	各教科の学習を中心として行われる様々な教育活動の中で、一人一人の児童の自主的な活動が促され、それぞれの児童が自己の特性を生かしながら学級や学校の生活を送ることができるようにするとともに、クラブ活動を通して身に付けた様々な技能や態度が、他の教育活動においても生かされるようにする。	○儀式的行事 学校や地域の行事について学習したことを基に、学校や地域の一人としての自覚を高めるようにする。 ○文化的行事 国語や音楽、図画工作などの学習の成果を発表し交流しあうことで、それらの学習の向上及び意欲を一層高める。 ○健康安全・体育的行事 体育の学習成果を発表し、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しみ態度の育成を図る。 ○遠足・集団宿泊的行事 社会や理科、生活や総合などの学習を生かして、自然や文化などに親しみ、国民生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積む。 ○勤労生産・奉仕的行事 生活、社会などの学習を生かして、勤労の尊さや生産の喜びを体得させ、社会奉仕の精神を養う体験を行う。
他教育活動との関連	低学年では、自分がやるべき仕事をしっかりと行うこと、友達と仲良く助け合うことを、中学年では、友達と互いに理解し信頼し助け合うこと、みんなでも協力して楽しい学級をつくることを、高学年では、互いに信頼し学び合い協力し助け合うこと、身近な集団にすすんで参加し自分の役割を自覚し協力して主体的に責任を果たすことを重視する。	下学年は、わがままをしないで自分でできることは自分でやること、よく考えて行動し節度のある生活をするを、上学年では、だれに対しても思いやりのある心をもち相手の立場に立つて親切にすること、身近な集団にすすんで参加し自分の役割を自覚し協力して主体的に責任を果たすことを、重視する。	4学年は、自分でやろうと決めたことは粘り強くやり遂げること、尊敬と感謝の気持ちをもち接することを、5・6学年は、進んで新しいものを求め工夫して生活をよりよくすること、だれに対しても思いやりのある心をもち相手の立場に立つて親切にすることを、重視する。	儀式的行事では、礼儀正しく真心をもって行動すること、みんなでも協力し合いよりよい校園をつくること、郷土や国を愛する心をつくることを、文化的行事では、美しいものや気高いものに感動する心をもつことを、健康安全・体育的行事では、健康や安全に気を付け生命あるものを大切にすることを、遠足・集団宿泊的行事では、自然環境を大切にすることを、勤労生産・奉仕的行事では、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことを、重視する。
外国語活動・外国語科	外国語活動で身に付けたコミュニケーションへの積極的な態度を、諸活動に生かせるようにする。	外国語活動で学んだコミュニケーションの場面や動きに配慮した、体験的なコミュニケーション活動の成果を生かすようにする。	「相手との関係を円滑にする」「事実を伝える」「考えや意図を伝える」「相手の行動を促す」などの学習体験を生かす。	外国語活動で身に付けたコミュニケーション力や我が国の文化に対する理解を深め、世界の人々と相互の立場を尊重・協調しながら交流しようとする態度を諸行事に生かす。
総合的な学習の時間	総合的な学習の時間で身に付けた自分との関わりに基づく課題発見力・主体的な学習態度などを、学級の諸問題を解決する実践活動に生かせるようにする。	総合的な学習の時間で学んだ問題解決のプロセスや友達同士の学び合いなど、学校の諸問題の解決や児童集会の企画・運営などに生かせるようにする。	総合的な学習の時間で学んだ問題解決のプロセスにおける創意工夫を、クラブ活動における多様な展開に生かせるようにする。	環境や自然を課題とした問題解決や探究活動として行われる体験活動と遠足・集団宿泊的行事との関連や、社会との関わりを考える学習活動としての体験活動と勤労の尊さや生産の喜びを体得し社会奉仕の精神を養う体験を行う勤労生産・奉仕的行事との関連を、重視する。
家庭や地域との連携	楽しく豊かな学級や学校の生活づくりや健全な生活態度を育成する活動を効果的に展開するために、個々の家庭の状況に配慮したり、家庭での指導との連携を図ったり、地域の人材を活用したりする。また、基本的な生活習慣の形成・心身ともに健康で安全な生活態度の形成・食育の観点から踏まえた望ましい食習慣の形成など生活リズム確立に向け、家庭での指導と連携を図り効果的な指導をする。	児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりの活動を効果的に展開するために、家庭や地域の協力を得たり、社会教育施設等を活用したりする。また、毎月のおふれあいウエズデーでの地域の高齢者との交流などを通して、地域の福祉に携わる活動や仕事をしている人々の協力を得たりする活動などを行う。	児童の興味・関心を基本としながら、地域の伝統芸能や文化・スポーツと関連付けて、外部講師や地域の教育力を活用したりするなど、地域の実態や特性を考慮した活動を促す。	文化的行事や健康安全・体育的行事などにおいて、地域の人々が参観しやすいように、曜日などを考慮したり、地域の伝統文化に触れる活動や地域の行事と学校行事との関連を図って実施するなどして、学校の教育について積極的に地域の人々に理解を得る。また、勤労生産・奉仕的行事などでは、保護者や地域の関係団体の協力を得るなど地域の人々との連携を図ったり、家庭への積極的な参加を呼びかけたりする。
備考				